

読書、トト

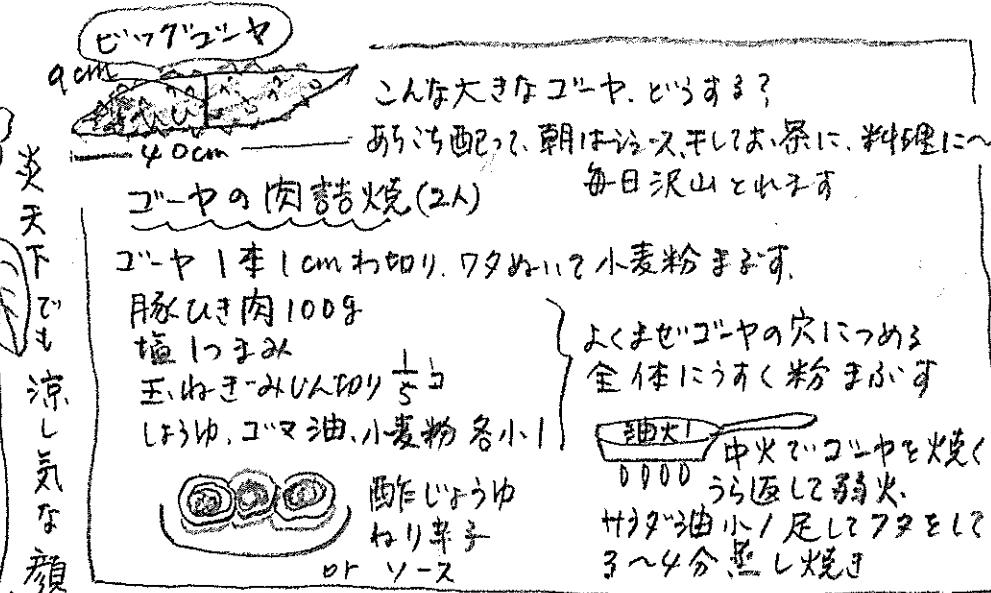
- 原野から見た山々 坂本直行画文
另溪堂

白銀に輝く大雪山系の山々を直かに見下すと、この本を再読すると、絵も文もとてもリアルに感じられて、新鮮！以前、ゆうこさんから貰曾られた立派な本で、直行さんと一緒に親しみながら見てくる。うちにあるほかの著書も再読してみ、GORIさんも本もファンです。

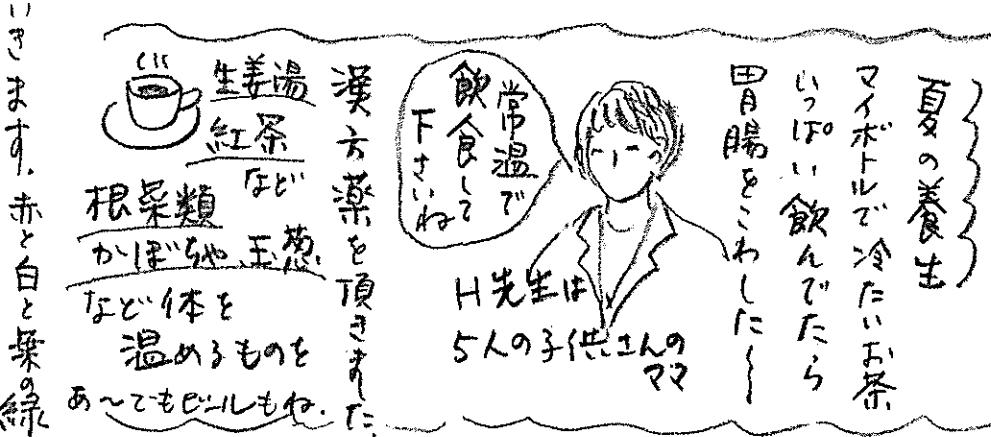
- 北方動物記 更科源蔵著
北海道出版企画セミ

GORIさんの本棚から取り出で、今さらやっとこの本に。52年出版、51年の復刻版。原野の開拓者の子として生み育った著者が記す馬、狼の滅亡、鹿、牛、豚、兔、狐……、彼らも命かけて生き、開拓民も苛酷な自然と彼ら動物との闘いに命かけて、そして食ひるものもなく倒れていった、一気に読みました。

- 北海道草原の歴史から 更科源蔵
新潮社
これもGORIさんの本、ほんまみれ、酷暑の日々ひたすら読みものに引かわしい本だた。表紙・カットは私の好きな彫刻家、佐藤忠良だ。想像を絶する厳しい国土の中で開拓に苦闘した人々、報われることなく廻りに埋もれた人々、馬鹿し、馬鹿され、それともその地に生き続けた人々、数多くの物語や「命」や「力」が今もあの広い大地にしっかりと刻められていくのだ。尊い民族誌である。



近くの親せきが集まって、お祝いの食事をしました。二人はとってもいい笑顔。今年、こんなうれしいことかー待っててなんやー。



けやき通信

2013年8月
NO.242

—錦織 佳代子—

手記録 111
<田代市4日連続40℃を超える!>

こんなニースカが流れているとき、去年まで日本一暑い町だった熊谷のY氏から涼しい贈り物が届きました。



スイス
ツェルマットから
マッターホルン
(4477m)
を望む
1898年に
描かれた絵の大
きなポスター。
長いスカートの
女性、ローブの
背に乗った
婦人たちも
見えます。

Y氏のアルプストレッキングひとり旅はもう5回目、今年は3000mの高みからスカイタクセルングをしてきたハーグフルツアーやアルプスの登山家、ガストン・レピエフラーの映画「天と地の間」を学生時代に東京で見たというGORIさん、レピエフラーの講演も聞いて著書にサインをもらったり、私たち、こんな本よく読んでいたねえ、お金はなく?憧れいつもいいもつたねえ。